

平成28年10月12日

南海電気鉄道株式会社

大阪府泉南郡岬町において 太陽光発電事業を開始します

南海電鉄（本社：大阪市浪速区／社長：遠北 光彦）は、グループ経営方針の一つとして「環境重視」を掲げており、様々な環境保全活動を積極的に実施しています。

その一環として、環境にやさしい再生可能エネルギーの普及・拡大を進めており、このたび大阪府泉南郡岬町淡輪の当社社有地において太陽光発電事業に取り組み、「南海淡輪発電所」として10月14日（金）から発電を開始します。

本事業は、南海電鉄が発電事業者となり、太陽光発電システムによって発電した電力の全量を20年間にわたり固定価格で電力会社に売却する「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用するものです。

なお、南海電鉄の太陽光発電事業としては、グループの住之江興業株式会社（本社：大阪市住之江区／社長：山部 茂）が施設を所有しているボートレース住之江（大阪市住之江区）での事例に続き、2カ所目となります。

詳細は別紙のとおりです。



南海淡輪発電所の太陽光発電設備

(別紙)

南海淡輪発電所の概要

1. 事業地

大阪府泉南郡岬町淡輪1328番地1他

2. 設備概要

設置面積 9,351㎡

パネル枚数 1,728枚

発電能力 約500kw

年間発電量 642千kwh (一般家庭約180世帯分に相当)

3. 発電開始日

平成28年10月14日(金)

4. スキーム

南海電鉄が発電事業者となり、太陽光発電システムによって発電した電力の全量を20年間にわたり固定価格で電力会社に売却します。

以上